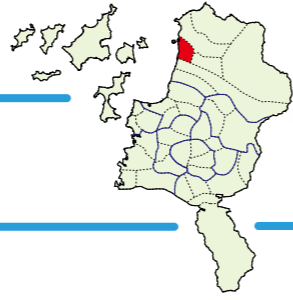


ほうじょう

北条地区

人口: 7,725人(高齢化率33.0%)
世帯数: 3,789世帯

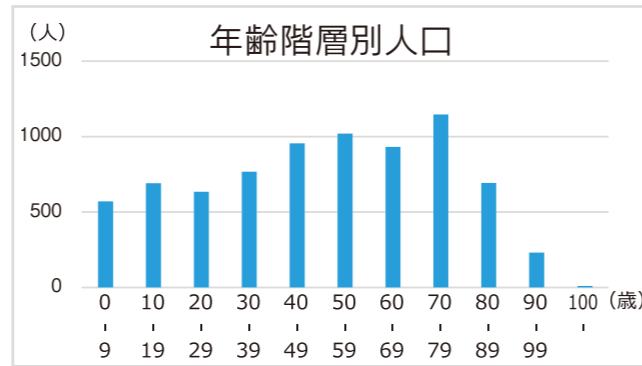


【地区の特色】

北条地区は、松山市の北部、旧北条市内の中心に位置し人口が密集しているが、少子高齢化が見られ人口減少傾向にある。町内会では住民の団結力が強く、伝統的行事には一致協力している。地区内には鹿島があり、北条の顔といえる周囲1.5kmの小島である。10月中旬には北条港で県無形文化財の櫓練り(かいねり)、明星川にみこしを投げ込む「みこしみそぎ」が有名である。



無形文化財「櫓練り」



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のつながりが比較的強い ・医療関係の充実 ・支所や各種施設があり、日常生活で困ることはない ・JRの駅がある(特急が停まる) ・教育文化が充実 ・災害が少ない ・お魚が美味しい ・農作物のお裾分けがある ・三世代の交流ができています ・公民館やまちづくり協議会の活動が活発 ・道路も整備されており、松山・今治共に近いという利便性
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加 ・子どもが少ない ・特急(JR)が停まる便が減少 ・伊予鉄バスの本数が減少 ・空き家、空き店舗が増加している ・避難所が収容人数に伴わない広さ ・道幅が狭く、生活道路に緊急車両が入らない ・大きい遊び場(公園等)がない ・娯楽施設がない ・学生がバイトのできる場が少ない ・野良猫が多い
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少 ・人口の高齢化 ・世帯数の減少 ・高齢者世帯の増加 ・収入の増加が見られない ・就労場所が近くにない ・高齢者施設の定員数が少ない(将来いつばいで入所できないかも) ・産婦人科がない ・総合病院がない ・世帯数は増加している(学生等賃貸の単身者の増加)が、人口が減っている

北条地区社会福祉協議会

瀬戸の凧 心和らぐ風早の里 鹿島

<拠点> 松山市北条885-1(おもてなしサロン明星)

TEL:089-992-5080

構成団体	地区民協・日赤奉仕団・区長会・小学校・公民館・PTA・高齢クラブ サロン代表・交通安全協会・ボランティアグループ
------	---

主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年2回作成し、地域福祉に関する情報を発信するために全戸配布しています。
高齢単身者給食サービス	年4回(6.9.11.2月)地区内の75歳以上の高齢単身者へお弁当を配布しています。
地区内行事への出店	地区内で開催される行事において、うどんやいなり寿司などを販売しながら地域住民との交流を深めています。

北条小学校児童と地域高齢者との交流

毎年、地域の高齢者と地区社協メンバーが北条小学校4年生とグラウンドゴルフ、1年生と昔から伝わる遊びとして、こま回しや竹馬、おはじき、あやとりなどを通して交流を図っています。

また、グラウンドゴルフのやり方や昔あそびを児童に教えることで、高齢者の活躍の場になっています。



<地区社協が目指すもの>

当北条地区社協事務所は、平成19年に基幹型サロンと一体となって開設され、令和4年で15周年を迎えました。誰もが安心して健やかに暮らしていける社会を実現するために地域住民とのつながりが大切でありながら、社協との接触が少ないためか若年層は特に認知度が低下していると思われる。地域団体、組織と協力し様々な活動等を通して意見・情報交換、福祉課題に取り組み、身近な社協として認知度を高めたいと考えております。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	17名 2名	■町内会・自治会・区長会等 ■高齢クラブ ■子ども会	28団体 2クラブ 0団体
	■まち協の設立	平成22年度	■自主防災組織	24組織

幼稚園から大学まで教育機関が整っており、その他スーパーやホームセンター、医療機関、福祉施設、松山市役所支所などがそろい日常生活に便利な地区です。したがって、若者層の単身世帯から子育て世帯、高齢者世帯まで幅広い世帯が居住しています。人口減少や住民の高齢化による空き家、空き店舗の増加といった課題を抱えていますが、最近では地区外から若い経営者が移住し店をオープンするケースや、大学生らを交えて祭りを開催するなど伝統文化の継承、小学生と地域高齢者との交流といった取り組みによって、若者が集う空間や機会が増えつつあります。こうした世代を超えて地域を盛り上げるために必要な地域への愛着と実行力を備えた地区といえるでしょう。

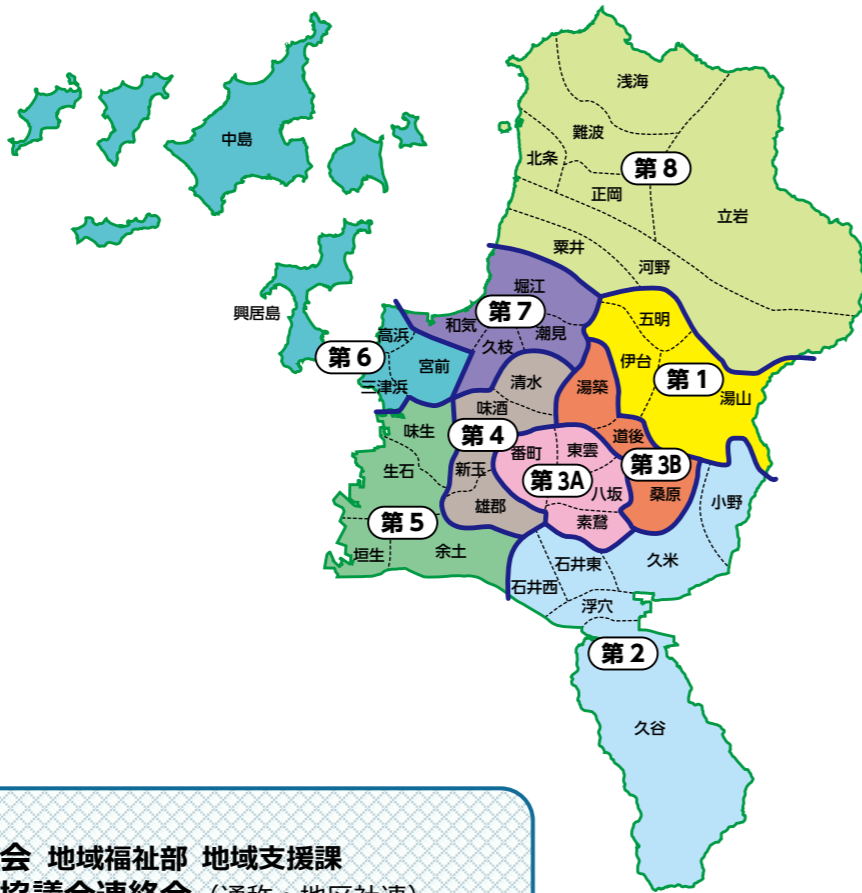


地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	潮見地区	第8	正岡地区
	浮穴地区		久枝地区		北条地区
	小野地区		和気地区		河野地区
	石井東地区		堀江地区		粟井地区
	石井西地区				
久谷地区					
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	八坂地区		新玉地区		新玉地区
	東雲地区		清水地区		清水地区
	素鷲地区		味酒地区		味酒地区
第3 B	道後地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	湯築地区		新玉地区		新玉地区
	桑原地区		清水地区		清水地区
第4	雄郡地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	新玉地区		新玉地区		新玉地区
	清水地区		清水地区		清水地区
第5	余土地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	垣生地区		新玉地区		新玉地区
	生石地区		清水地区		清水地区
第5	味生地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
			新玉地区		新玉地区



発行日 令和6年4月
発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
 〒790-0808 松山市若草町8番地2
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>
作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

<『地域カルテ』の見方>

①地区の概要

五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と豊富な湿度がある立地条件を生かし、古くから心とう栽培に誇りを持っている。また、五明太郎などの「五明太郎」が自然発生の「五明川が流れており、清流に溢れている。

人口：426人(高齢化率48.8%)
世帯数：225世帯

②地域住民からみた地域の状況

高齢者が多く、この歳が定年である。- 家庭内の事情がある程度わかっている
 一人で生活して中々、物を取り合っている。- 移動サービスが来る
 車での通勤 - 通学時は遅くも20-30分で市内中心部へ行く
 自然が豊かで季節を感じることができる。- 食べ物の心配(コンド)が抱えている
 自主防災と連携し、災害時の避難の仕組みを作っている。- 集合タクシーが利用できる
 まちがで、地域団体との連携が取れている。- 集合タクシーが利用できる
 田舎暮らしなど地域の子どもの交流

③地区社協の概要と取り組み

五明地区社会福祉協議会 人が好き 自然が好き 五明が大好き

【地区社協の概要】
 五明地区社会福祉協議会 人が好き 自然が好き 五明が大好き

【地区社協の取り組み】
 五明地区社会福祉協議会 人が好き 自然が好き 五明が大好き

④地区内関係団体データ

地区民協 令和5年4月1日現在の定数
 まち協の設立 令和5年9月1日現在の設置状況
 町内会等 令和5年度町内会等状況調査(基準日:令和5年6月1日)
 高齢クラブ 松山市高齢クラブ連合会登録数(令和5年7月1日現在)
 子ども会 令和5年度松山市子ども会連合会加入数(令和5年5月1日現在)
 自主防災組織 自主防災組織 地区別結成状況(令和5年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏

- ①地区の概要
 - 人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
 - 地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。
- ②地域住民からみた地域の状況
 - 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。
- ③地区社協の概要と取り組み
 - 令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。
- ④地区内関係団体データ

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査(基準日:令和5年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(令和5年7月1日現在)
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数(令和5年5月1日現在)
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(令和5年4月1日現在)
- ⑤地域福祉推進のポイント
 - 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏